

フッサール研究 第13号

2016年3月

目次

研究論文

石井雅巳

『全体性と無限』における享受論の实在論的読解
——レヴィナスはいかなる意味で現象学的か..... 1

加藤康郎

人はなぜ描くのか——現象学的美学の可能性について—— 22

高山佳子

フッサールの倫理思想とケアの倫理
——ケアの倫理の哲学的原理的探求に向けて—— 48

特集「情動の哲学と現象学的感情論」

陶久明日香

情状性／気分の規定力..... 66

服部裕幸

情動(emotion)の問題について 86

八重樫徹

価値に触れて価値を知る——フッサールと情動の知覚説—— 104

特別寄稿

ニコラ・リベラティ（訳：大家慎也・植村玄輝）

私たちはボーグか？——技術による集合体としての主体をめぐって 118

フッサール研究会特別企画「フッサールの新資料を読む」より

葛谷潤

『知覚と注意』（XXXVIII）に関する報告 141

鈴木崇志

『論理学研究補巻』第2分冊についての報告 155

植村玄輝

フッサールの新資料を読む 『一般的認識論—1902/03年講義』 172

八重樫徹

道徳における客観性と感情——『倫理学入門』を読む—— 190

佐藤駿

『論理学研究 補巻 第一部』を読む 206

松井隆明

存在と証示可能性

『フッセリアーナ』第36巻『超越論的観念論』を読む 222